

○新型コロナウイルス禍の中、何とか収束してほしいと願いながら早くも9月です。子どもたちがのびのびと過ごせる環境、遊び仲間の中に取り戻してやりたいが、今の私たち教職員の切なる願いです。そのためにも、こまめな工夫と緊張感がが必要です。保護者の皆様方と共に、互いを思い合ったり、気を配ったりしながら、保育を進めていきます。

○人間はいっぱい可能性をもって生まれてくる」 松本きよこ氏

かけがえのない私たちの命は弱いながらも生きるために必要な力をもって生まれてきます。それがそのまま活かされ、成長すると皆天才になり、その人らしく素晴らしい人生を送れるはずなのですが、・・・実際はなかなかそうはいきません。

成長の過程で「いいとか悪いとか」評価され、「ダメだ、ダメだ」と否定され、抑えられ、ともすると「自分はダメな人間なんだ」「親の期待には応えられない人間なんだ」などと間違った思い込みをしてしまったら、残念ながら、その子の力の可能性は開花しないままになってしまいがちです。

○「自分にいい暗示をかけよう」

まず、どの子も素晴らしいものを持っているということを信じてことです。もしその子の良さがわからなかったら、今私には見えないけれど、何かあると自分に繰り返し言い聞かせてみましょう。だんだんその気になってくると、言葉に出さなくてもその思いがその子に伝わり、やがてその子の良さが引き出されてきます。そして心から好きだよって思えると、いい関係になってこちらの言うこともきいてくれるようにもなります。「この子は何か素晴らしいものを持っている」繰り返し何度でも自分に暗示をかけてみてください。何かが変わってきます。

○「好きだよっ！メッセージ」

子どもは自分のことを好きだよって認めてくれる人を敏感に感じ、自分はここにいてもいいんだ、価値あるものなんだ、大切なんだと思えるようになってきます（自己肯定感）。そしてできたら一日一回強く抱きしめてあげるといいですね。

○子どもを変えたいと思ったらこちらの心を変える
しかないといわれますが、どうでしょうか。

.....

“人はパンだけで生きるものではない”

マタイによる福音書4章4節